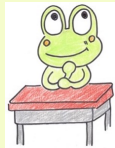


学校教育目標
「生き生きとしたみどりの子」
かしこい子の姿



研究主題

自己の学びを創る子供を育てる

～考える力を高める

カリキュラム・マネジメント～



盛岡市立緑が丘小学校

研究主題

「自己の学びを
創る子供」とは



盛岡市立緑が丘小学校

思いや願いをもち、

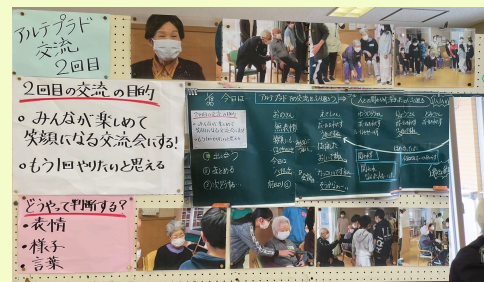
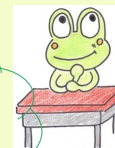
楽しそう やってみたい
できそう
できるようになりたい
難しそうだから考えたい



盛岡市立緑が丘小学校

事象と連続・発展的に関わり、

もっとやりたい！
次は〇〇ができるよう
になりたい！
もっと考えたい！



盛岡市立緑が丘小学校

他者と協働的に学ぶことで考えを深め、
資質・能力を獲得する子供



他の人の考えが知りたい！
こうすればもっと楽しい！
こうすればできそう！
もっとわかった！できた！



盛岡市立緑が丘小学校

「自己の学びを創る子供」とは

思いや願いをもち、
事象と連続・発展的に関わり、
他者と協働的に学ぶことで考えを深め、
資質・能力を獲得する子供



盛岡市立緑が丘小学校

自己の学びを創る子供を育てる
ために…

考える力を
高める



盛岡市立緑が丘小学校

〈手段〉

カリキュラム・
マネジメント



盛岡市立緑が丘小学校

なぜ、カリキュラム・マネジメントか？



学習指導要領で大事だと言っている。

教育の目的や目標の実現に必要な教育内容を教科横断的な視点で組み立て、実施状況を評価、改善を図り、人的・物的資源の確保し、**教育活動の質の向上**を図ること 「指導要領総則」より

すなわち、**子供の資質・能力を育む（考える力を高める）**ためには、授業だけでなく、教育課程全体で考えていく必要がある。

だから今、カリキュラム・マネジメント！！



盛岡市立緑が丘小学校

本校ではどのようにして 考える力を高めるために カリキュラム・マネジメント を進めているのか。



盛岡市立緑が丘小学校

子供の考える力を高めるために



A 「教育活動全体の カリキュラム・マネジメント」

B 「授業の カリキュラム・マネジメント」



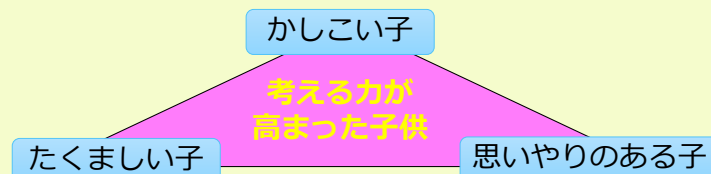
盛岡市立緑が丘小学校

A 教育活動全体のカリキュラム・マネジメント



教育活動全体で、**目的的に考える多様な場面**を創ることで、考える力を高める。

生き生きとしたみどりの子



盛岡市立緑が丘小学校

A 教育活動全体のカリキュラム・マネジメント

紀要P11,12参照

生き生きとしたみどりの子

学習の基盤づくり

- ① どんな授業をつくりたいのか（目的）話し合って決める。
- ② 目指す授業を達成するために、何を頑張るのか（手段）を話し合って決める。

かしこい子

考える力が
高まった子供

委員会活動

- ① ○○委員会で目指す学校像を話し合って決める。
- ② 目指す学校像を実現するために、どんな活動をするかを話し合って決める。

たくましい子

清掃活動

- ① 何のために掃除をしているのかを話し合い、掃除の目的を確認する。
- ② 掃除の目的を達成するために、どんな掃除をするか話し合う。
- ③ 掃除の目的を達成することができるかを振り返る。

思いやりのある子



盛岡市立緑が丘小学校

子供の考える力を高めるために

A 「教育活動全体の カリキュラム・マネジメント」

B 「授業の カリキュラム・マネジメント」



盛岡市立緑が丘小学校

B 授業のカリキュラム・マネジメント

子供の考える力を高めるために必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと

視点1 教科等間の「考えるための技法」の活用・発揮

視点2 深い学びの実現に向かう
単元構成

視点3 単位時間の考える活動の
充実

授業の子供の姿で研究の手立てを評価してその改善を図っていくこと

授業に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと



盛岡市立緑が丘小学校

配列表の作成

比較 → 関連 → 知識 → 技能

行事	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	なまがたて	春のうた	春のうた	春のうた	春のうた	春のうた	春のうた	春のうた	春のうた	春のうた	春のうた	春のうた
算数	数のつくりとよさ	数のつくりとよさ	数のつくりとよさ	数のつくりとよさ	数のつくりとよさ	数のつくりとよさ	数のつくりとよさ	数のつくりとよさ	数のつくりとよさ	数のつくりとよさ	数のつくりとよさ	数のつくりとよさ
理科	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ
社会	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ
音楽	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ
体育	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ
芸術	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ
外国語	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ
総合	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ
その他	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ	自然のつくりとよさ

教科等間の活用・
発揮の構想
(資質・能力、視点1)

ぐじゃぐじゃに
書き込む



盛岡市立緑が丘小学校

視点1 教科等間の「考えるための技法」の活用・発揮



様々な教科等，そして生活場面で，同じ種類の「比較」「関連」を繰り返すこと，すなわち「考えるための技法」の活用・発揮を図っていく。



盛岡市立緑が丘小学校

なぜ，「比較」「関連」か？

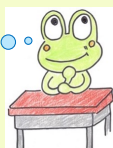


- ・ 「比較する」と「関連付ける」は，全教科等で大事にしている 思考方法であるということ
- ・ 他の「考えるための技法」を使う際にも，「比較する」や「関連付ける」が使われおり，「比較」「関連」を取り上げることが，他の「考えるための技法」の活用することにもつながること



盛岡市立緑が丘小学校

「比較」「関連」
（「考えるための技法」）ありきではない



- ・ 様々な教科等，生活場面においても，「考えるための技法」を使って考え，知識をつないでいくことができるようになる。（考える力が高まった姿）

考える力を高めるため

- ・ 他教科等において，同じ種類の比較や関連をすることによって，実際の授業において比較や関連の思考がしやすくなり，深い学びの実現につながる。（各教科等の考える力が高まった姿）

深い学びを実現するため



盛岡市立緑が丘小学校

子供の考える力が高まる



深い学びが実現し，資質・能力が育まれる

視点1 教科等間の「考えるための技法」の活用・発揮

配列表 教科等間の資質・能力の活用・発揮



盛岡市立緑が丘小学校

「考えるための技法」の活用・発揮の方途



子供の資質・能力

研究部の主題

深い学びを実現した姿

深い学びを実現するための思考の分析

教科等の特性をもとにして、
「何と何を比較するか・関連付けるのか」
「そのことによって何を明らかにするのか（目的）」
「そのためにどのような支援をするのか（手段）」
を考える。

同じ種類の「比較」や
「関連」を繰り返す

①他教科等

①日常生活

②研究教科

③他教科等

③日常生活



盛岡市立緑が丘小学校

視点2 深い学びの実現に向かう単元構成



深い学びを実現するために、各単位時間が連続・発展し、子供自身が自ら考え、知識をつなげ、概念を獲得していくようにする。

探究的な学習

個別最適・協働的な学び
の位置付け

教科等の本質的な学び



盛岡市立緑が丘小学校

探究的な学習について （子供が創る授業）



「課題の設定」「情報の収集（自力解決を含む）」
「整理・分析」「まとめ・表現」の過程が発展的に繰り返されていく。

- ・子供の思いや願いを生かし、子供自身が課題を設定し、プログラミング的思考を使って学習計画を立てたりするように支援する。
- ・子供の課題意識が連続・発展するように、子供の思いや願いにもとづいて単元の構成を修正する。



盛岡市立緑が丘小学校

個別最適な学びと 探究的な学びの位置付け



深い学びを実現した姿

単元への意図的な位置付け

個別最適な学び
＝子供一人一人にとって最適な学び

協働的な学び
＝他者の考えにより、自分の考えをもとに、考えを深める。



盛岡市立緑が丘小学校

教科等の本質的な学び

教科等ならではの活動や見方・考え方を位置付け、単位時間ごとに評価規準（育みたい資質・能力）を設定していく。

単位時間ごとにどの子も評価規準に辿り着き、次の時間は前の時間に習得した知識や技能等を活用し、さらにつながりのある知識や技能を習得していく。

単元の終末において、概念を獲得・深い学びを実現し、考える力を高めることができる。



盛岡市立緑が丘小学校

子供の考える力が高まる

深い学びが実現し、資質・能力が育まれる

探究的な学習

個別最適・協働的な学びの位置付け

教科等の本質的な学び



盛岡市立緑が丘小学校

視点3 単位時間の考える活動の充実

深い学びを実現するために、単元構成に位置付いている各単位時間の考える活動の充実を図っていく。

単位時間の授業を構想する際には、評価規準Bの子供の姿を具体的にもつことを大事し、評価規準Bの姿にどの子も到達するための考える活動の充実を図る。

深い学びを実現した姿

単元構成における考える場面の位置付け

目標の達成
(評価規準Bの到達)

単位時間の考える活動の充実



盛岡市立緑が丘小学校

視点3 単位時間の考える活動の充実

考える活動を充実するために、「考えるための技法（思考方法）」の活用を図る。

考えるための技法の活用
(比較・関連)

個別最適な学びにおける個の支援

協働的な学びの中での考えを深める支援



盛岡市立緑が丘小学校

「考えるための技法」の活用



- ① 活用する「考えるための技法」を構想し、考えるための技法を設定する。

単位時間の目標の達成（評価規準Bの姿へ到達）するために、子供のもっている資質・能力や思いや願い、教科等の特性にもとづき、「何を視点に」「比較する（関連付ける）のか」を構想し、授業の中に考える場面を設定する。



盛岡市立緑が丘小学校

「考えるための技法」の活用



- ② 「考えるための技法」を活用する（考えを深める）ための支援を行う。

個別最適な学びにおける個の支援

- ・指導の個別化
- ・学習の個性化
- ・協働的な学びへのつながり

協働的な学びの中での考えを深める支援

- ・話し合いのファシリテーション（発問による焦点化）
- ・板書やICTによる可視化



盛岡市立緑が丘小学校

「考えるための技法」の活用



- ③ 「考えるための技法」を使って目標を達成した姿が表れたことを価値付ける。

教師が、授業中や振り返りの際に表出された子供の言葉を価値付ける。



「考えるための技法」を使ったことにより、課題を解決したことを実感することができるようにする。



盛岡市立緑が丘小学校

子供の考える力が高まる



深い学びが実現し、資質・能力が育まれる



視点2 深い学びに向かう単元構成
（探究的な学習 考える場面の位置付け）



視点3 単位時間の考える活動の充実
（考えるための技法の活用 個別最適・協働的）



盛岡市立緑が丘小学校

カリキュラム・マネジメントを進めてきた ことにより



【成果】

授業や日常生活の中で、自ら「考えるための技法」を使って考える子供の姿が見られるようになってきている。友達と考えをつなぎながら生き生きと考える子供が増えてきている。そのことから、子供の考える力が高まってきていることを感じる。

まだ過程である



盛岡市立緑が丘小学校